

感染症情報 9月19日～9月25日

府下小児科201医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	589例(堺市 24例)
②おたふくかぜ	337例(堺市 17例)
③溶連菌感染症	319例(堺市 15例)
④RSウイルス感染症	253例(堺市 19例)
⑤手足口病	87例(堺市 7例)

が報告された。

感染症報告数は前週より7.2%減の1,945件であった。報告の第1位は感染性胃腸炎で以下、おたふくかぜ、溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病の順であった。2位のおたふくかぜは府下では前週303例から11%増で、堺市では26%減であった(23例→17例)。3位の溶連菌感染症は府下では前週比17%減、堺市では前週24例から15例で38%減であった。4位のRSウイルス感染症は府下で2%増、堺市では前週17例から19例であった(12%増)。手足口病は前週府下64例から今回87例に増え、5位になった(堺市では5→7例)。

関西空港内事業所から新規の麻疹は発生していないようであるが、大阪府下では上記報告期間中に3例が麻疹と報告されており、まだ終息していない。

風疹の報告はなかった。